

宮 前 中 学 校

自ら学ぶ意欲と豊かな心を育む学校図書館

今の学校図書館

本校の学校目標に基づき、自ら調べ、学ぶ意欲を育成するための「学習センター」「情報センター」、また読書を通して豊かな心をはぐくみ、思いやりの精神を育てることができる「読書センター」を目標として、利用者が利用しやすい蔵書構成、居心地の良い環境作りを進めている。

学校図書館の運営

学校図書館長(校長)のもと、図書担当教諭、学校司書、図書委員会が中心となって運営している。他の教職員にも助言や協力を仰ぎながら、図書の選定や除籍、使いやすい配架を行っている。また、外部ボランティアや学校支援本部とも連携し、魅力的な展示装飾や蔵書点検を行っている。

1年間の主な活動

- 授業支援
- 朝読書(10分間)
- 学級文庫提供
- 図書館だより
- 図書委員会だより
& オススメ図書展示



- 全クラスへの図書館オリエンテーション(4月)
- 長期休業前貸出
- 読書月間(12月)
- 初みくじ(1月)



特色ある取組

○個人カードの配布

入学時からの貸出冊数に応じて個人カードの配布を行っている。本好きの生徒や今まで図書館で本を借りることがほとんどなかった生徒への意識付けとして好評である。



○図書委員会の宣伝&イベント活動

日常のカウンター業務だけでなく、月ごとに担当学年を決めて、図書委員会だよりとオススメ図書コーナーを更新している。また学級文庫の管理や、自分たちで作ったしおりなどを景品とした初みくじ(1月)などのイベントを行っている。



ブラウニーと『チョコレート・アンダーグラウンド』
(アレックス・シアラー
求龍堂)

○本と給食とのコラボ

栄養士と相談し、図書館の本の内容と関連づけた献立を給食で出してもらい、お昼の放送で栄養士と司書で作った放送原稿を放送委員に読んでもらっている。

これからの学校図書館

- 司書室の一部を学習コーナーとして、昼休みや放課後一人でも使いやすいように整備した。図書館の立地(1年教室からは遠い)やタブレットの普及で遠くの生徒の動線を図書館の色々な活用の仕方を提案することにより、学校図書館の良さをアピールし、利用者増につなげていきたい。